

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

1-3 月期の実質 GDP 成長率は前年比+3.6%と、前期（同+3.9%）に比べ若干鈍化したものの、4 四半期連続で同+3%台の成長を維持した（第 1 図）。需要項目別の寄与度をみると、総固定資本形成が同+3.5%ポイント、個人消費が同+3.2%ポイントとなっており、これまでと同様、国内需要の伸びが成長を支える構図である。一方、純輸出は同▲3.4%ポイントとマイナス寄与が続き、成長率を下押しした。

これまで概ね順調な回復ぶりを示してきたアルゼンチン経済だが、先行きには暗雲が立ち込めている。5 月の鉱工業活動指数は前年比▲1.2%と、昨年 4 月以来のマイナスとなった。5 月の建設活動指数も同+5.8%と伸び率は鈍化傾向にあり、景気軟化の可能性に留意が必要である。

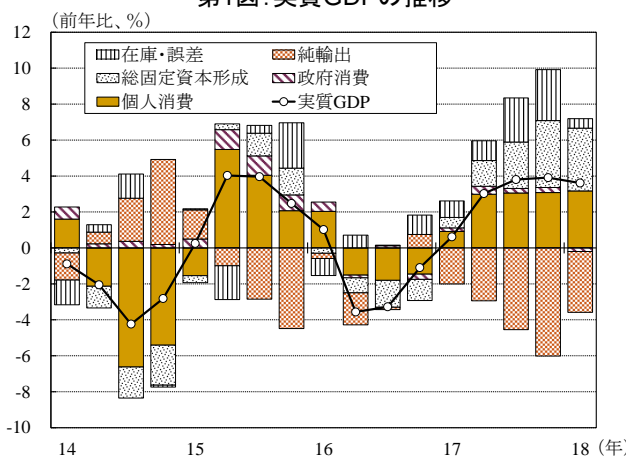
マクリ政権では、6 月に工業生産相とエネルギー鉱業相が辞任し、さらに中央銀行総裁も為替相場混乱の責任をとり辞職した。高水準であったマクリ大統領の支持率も足元では低下しており、依然として高いインフレ率と改善しない失業率、そして最近急激に進行しているペソ安により、同大統領は厳しい状況に直面している。

2. 物価・雇用

物価：5 月の消費者物価上昇率は前月比+2.1%と前月（同+2.7%）よりはやや鈍化した。2 月以降同+2%台の高インフレが続いている。

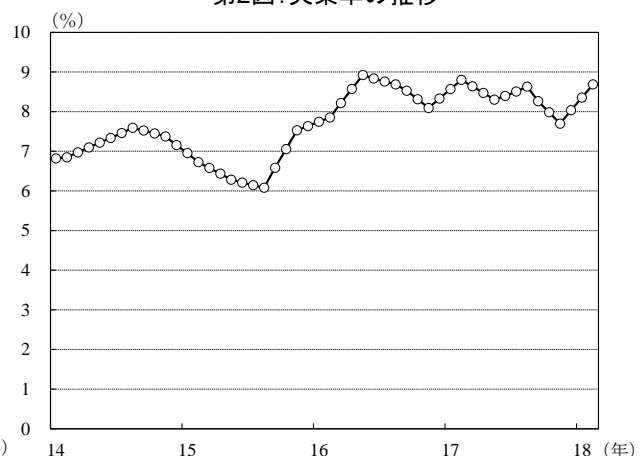
失業率：失業率は、昨年 11 月に一時 7.7%まで低下したものの、その後は上昇基調に転じており、2 月は 8.7%となった（第 2 図）。

第1図: 実質GDPの推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

第2図: 失業率の推移



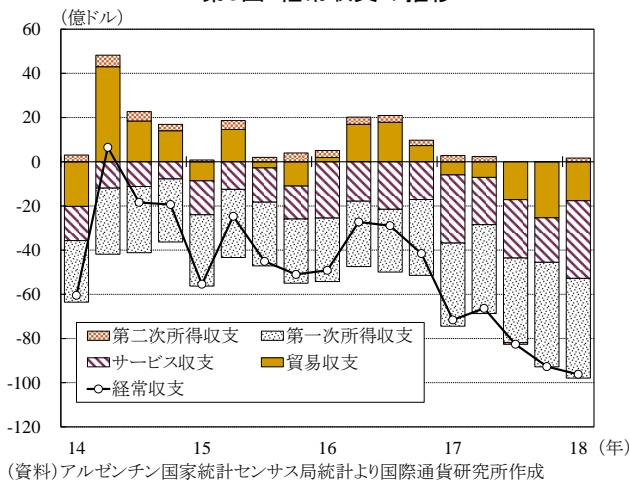
(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. 経常収支、外貨準備高

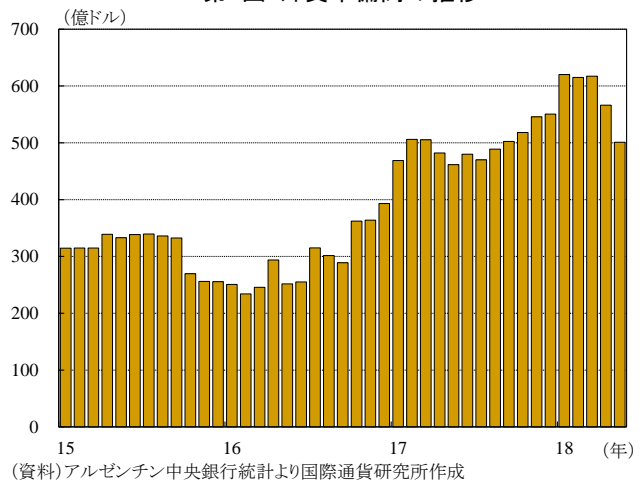
1-3 月期の経常収支は▲96 億ドルと、前期に比べ赤字幅が 9 億ドル拡大した。貿易赤字は前期から 8 億ドル縮小したものの、サービス収支の赤字幅が 15 億ドル拡大した（第 3 図）。

外貨準備高はペソ急落に伴う資金流出を受けて、1 月の 620 億ドルから 5 月には 501 億ドルまで減少した（第 4 図）。こうしたなか、6 月 7 日に国際通貨基金（IMF）は 500 億ドルのアルゼンチン向け融資枠の設定を決定した。

第3図：経常収支の推移



第4図：外貨準備高の推移



4. 金融市場

為替：ペソ相場は、米国金利の上昇や、高インフレ・経常赤字といったファンダメンタルズの脆弱性に対する懸念の強まり等を背景に急落しており、6月には過去最安値の1ドル28.88ペソを記録した。足元も同28ペソ台で推移している（第5図）。

株価：株価は景気の先行きへの懸念や海外への資金流出等を背景に下落が続いており、メルバル指数は足元で26,000台まで下落している（第6図）。

第5図：アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



第6図：株価(メルバル指数)の推移



アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	▲2.5%	2.7%	▲1.8%	2.9%
鉱工業活動指数(前年比)	▲2.5%	0.1%	▲4.5%	1.7%
建設活動指数(前年比)	▲0.4%	-	▲12.4%	12.6%
自動車生産台数(千台)	617	527	473	472
自動車販売台数(千台)	614	587	721	884
失業率	7.2%	6.7%	8.4%	8.4%
消費者信頼感指数	40.8	54.6	45.2	45.6
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	23.9%	26.7%	-	-
(年平均)	38.4%	27.7%	40.7%	22.8%
輸出(FOB)(億ドル)	684	568	577	584
(前年比)	▲10.0%	▲17.0%	1.7%	1.2%
輸入(CIF)(億ドル)	652	598	556	669
(前年比)	▲12.4%	▲8.4%	▲6.9%	20.3%
貿易収支(億ドル)	32	▲30	21	▲85
対外準備(億ドル)(年末)	314	256	393	551
ベースマネー(億ペソ)(年末)	4,626	6,239	8,217	10,011
対民間部門貸出量(億ペソ)(年末月)	6,330	8,583	11,246	11,477
(前年比)	20.2%	35.6%	31.0%	2.1%
経常収支(億ドル)	▲92	▲176	▲147	▲308
株価指数(メルバル指数)(年末)	8,579	11,675	16,918	30,066
対米ドル為替相場(年末)	8.4645	12.9450	15.8250	18.8250

2. 月次

	17年10月	11月	12月	18年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実質GDP成長率(前年比)	┌	3.9%	┐	┌	3.6%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	4.4%	3.5%	0.3%	2.6%	5.3%	1.2%	3.4%	▲1.2%	-
建設活動指数(前年比)	25.3%	21.6%	14.5%	19.0%	16.6%	8.3%	14.0%	5.8%	-
自動車生産台数(千台)	44	45	33	22	39	50	46	47	-
自動車販売台数(千台)	74	79	90	64	74	80	73	76	-
失業率	8.0%	7.7%	8.0%	8.4%	8.7%	-	-	-	-
消費者信頼感指数	51.1	51.1	43.2	45.2	43.8	43.8	40.1	36.1	36.0
消費者物価上昇率(前月比) INDEC	1.5%	1.4%	3.1%	1.8%	2.4%	2.3%	2.7%	2.1%	-
輸出(FOB)(億ドル)	52	46	45	48	43	54	52	52	-
(前年比)	10.8%	▲4.2%	▲2.4%	11.1%	9.8%	17.4%	6.2%	▲6.0%	-
輸入(CIF)(億ドル)	62	62	54	57	52	60	61	64	-
(前年比)	29.5%	30.2%	16.7%	32.1%	26.3%	8.8%	22.7%	6.3%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	▲10	▲15	▲8	▲10	▲9	▲6	▲9	▲13	-
対外準備(億ドル)	518	546	551	620	615	617	566	501	619
ベースマネー(億ペソ)	8,701	8,803	10,011	9,661	10,029	9,955	9,994	10,205	-
対民間部門貸出量(億ペソ)	15,519	16,133	17,012	17,583	18,017	18,486	19,216	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	▲87	┐	┌	▲96	┐	┌	-	┐
株価指数(メルバル指数)(月末)	27,935	26,905	30,066	34,939	33,011	31,115	30,006	28,559	26,037
対米ドル為替相場(月末)	17.6760	17.3750	18.8250	19.6150	20.1175	20.1320	20.5150	24.9600	28.8500

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 矢口 満 mitsuru_yaguchi@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。